

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍で運営推進会議を书面開催にしており、施設の行事や、新しい入居者様の紹介、退去者の報告、身体拘束高齢者虐待についての検討会の報告、スタッフの状況報告など行っているが、会議メンバーからの意見を収集する仕組みが不十分であった	運営推進会議の取り組みについてコロナ禍で資料配布し、书面開催時にも意見を聴取出来る仕組みづくりを行う。	メンバーの方に配布する運営推進会議の資料の中に返信用の封筒(すこやかほ一むの住所記入済み切手貼り付け済み)と便箋を入れ、必ずご意見を記入して送付していただくようにします。また送付されない方については直接お電話をかけて、ご意見を伺います	1ヶ月
2	35	夜間想定を含め年二回の定期的な火災避難訓練を実施している。地元消防団や住民の参加もあり、指摘を受けた事柄については改善できているが、夜勤専門職員が訓練に未参加であった。	夜勤専門職員が訓練に参加する機会を設けより安全な避難訓練体制を築きます。	今現在すこやかほ一むでは、各ユニット一名ずつ計三名の夜勤専門職員がおります。三名全員揃っての訓練の調整は中々難しく、個別にて実施していきたいと思っております。内容については、夜間想定 of 避難訓練と消防設備の説明、実践、消火器の場所確認、避難通路の確認、避難場所の確認、車椅子の方と歩ける方の全入居者様の確認など行います。また、3ユニットどこが火元になっても対応できるように詳しく説明を行います。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。